学校番号	１１５

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合 (現代文)	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校国語総合　現代文編［改訂版］（三省堂）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版）、重要頻出漢字リアルマスター3300（尚文出版）、現代文単語げんたん（いいずな書店）、完成日本文学史ノート（京都書房）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校の現代文の授業では、近代以降のテクストを用いて「読むこと」「書くこと」を中心に学びます。文章だけではなく、写真やイラスト、図、グラフなどあらゆる情報を適切に読み取り、複数の情報を統合させて考えることが求められます。
読むときには、情報と情報の関係性（同じことを述べているのか、反対のことを述べているのか、何が原因でどういう結果になっているのか）を意識してください。
漢字や語彙、文学史など基礎的な学習が不可欠です。漢字・現代文単語・文学史のテストでは必ず満点を取りましょう。

２　学習の到達目標

①漢字、語彙、文学史などの知識を身につける。
②多様なテクストを適切に読み取る力、また読み取った情報を統合し構造化して考える力を身につける。
③思考の過程や結果について、相手が正確に理解できるよう根拠に基づいて表現する力を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述内容の確認 記述内容の分析	グループ活動の様子、発言内容 発表の仕方 記述内容の分析	記述内容の確認 記述内容の分析 小テスト 定期考査	発言内容 記述内容の確認 記述内容の分析 定期考査	発言内容 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期中間	評論	「ありのままの世界は見えない」(田中真知) 「水の東西」(山崎正和)	◎		◎	◎	○	a:日本や西洋の文化、現代の文化について興味・関心を持ち、評論の読み方を身につけようとしている。 ｃ：「水の東西」の論理構成を模して、東西の文化比較論を書いてみる。 ｄ:二項対立による論の展開や、筆者の主張を的確に捉えている。 e:指示語を正しく理解し、語彙を着実に増やしている。	a:行動の観察、記述の確認 c:記述の確認 d:記述の確認、定期考査 e:小テスト、定期考査
1学期期末	小説	「羅生門」	○	◎		○	◎	a:人物・情景・心情の描き方や表現効果について理解しようとしている。 ｂｄ:登場人物の言動を的確に読み取り、話し合いで人間に対する理解を深めている。 e：作者のほかの作品や、原典である古典作品について知識を身につけている。	ab:行動の観察、記述の確認 de:記述の確認、定期考査
2学期中間	詩歌	「甃のうへ」(三好達治) 「崖」(石垣りん) 「その子二十」(与謝野晶子他) 「いくたびも」(正岡子規、他)	◎	○		◎	○	ａｂ:繰り返し朗読することにより、それぞれの作品世界の理解を深め、詩人たちの個性に触れいている。 ｄｅ:一つ一つの表現に即して、その意味を明らかにしようとしている語彙を理解し、着実に増やしている。	ab:行動の観察、記述の確認、発表の仕方 :提出物 de:定期考査
2学期期末	評論・小説	「「もの」の科学から「こと」の科学へ」(池田清彦) 「灰色の月」(志賀直哉)	◎			◎	○	ad:「もの」の科学から「こと」の科学へという思考の転換の必要性を、筆者の主張を通じて理解している。 e:文学史の知識を得、語彙力をつけている	a:行動の観察、記述内容の確認 de:記述内容の確認、定期考査
学年末	評論・小説	「想像し物語ること」(大江健三郎) 「夢十夜」(夏目漱石)	◎			◎	○	ad:夢幻的な文章の世界観を味わい、評論の読み方を身につけようとしている。筆者が文学テクストをどのようにとらえているかを理解している。 e:文学史の知識を得、語彙力をつけている。	a:行動の観察、記述内容の確認 de:記述内容の確認、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　ｅ：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。